

この時期、ねいの里の森の生態園を歩いていると、地面にたくさんのだングリが落ちています。

小さい子どもたちは目の位置が低いため、素早くドングリを見つけます。そしてドングリ拾いが大好きです。ドングリというのはブナ科の木

種類によって違う形

の实のことを言い、よく観察すると、色々な形の实があることがわかります。

園内ではコナラやクヌギ、アベマキなど7種類のドングリの木が確認されていますので、堅果（ドングリ本体）と殻斗（帽子またはハカマ）の形から、その違いを観察してみよう。

これらのドングリは動物が冬を越すための大切な栄養源にもなっています。クマが冬眠に備

え、おなかいっぱい食べることや、リスが地面に埋めて冬の食料を蓄えることなどは有名です。（富永宣宏）



コナラのドングリ



クヌギのドングリ